

防除情報「なすのオオタバコガに注意しましょう」(7月7日)

7月上旬の巡回調査で、貝塚市のなす栽培ほ場でオオタバコガ若齢幼虫の発生を確認しました。

また植物防疫協力員からも発生が多いという報告がありました。

府内のフェロモントラップによる調査では、今のところ平年並の捕殺虫数ですが、今後の発生に十分注意してください。

オオタバコガは、1頭の幼虫が多くの果実や花などを渡り歩くため、寄生虫数が少なくても被害が拡大するので注意が必要です。

また、果実内に食入してしまうと薬剤がかかりにくく防除が難しくなるので、初期防除が大切です。

○対策

- 1 被害のあった新芽や果実は早期にほ場から持ち出して処分する。
- 2 幼虫を捕殺する。
(1頭が複数の果実や花を食害するため、捕殺による防除効果が高い)
- 3 早期発見に努め、若齢幼虫時に防除を行う。
- 4 施設では、開口部を寒冷紗等(5mm目合で可)で被覆し、成虫の侵入を阻止する。
- 5 黄色蛍光灯を終夜点灯すれば、成虫の行動や産卵を抑制し、被害を軽減できる。

○防除薬剤について

昨年度、オオタバコガに対する薬剤感受性調査を実施したところ、

- ・スピノエース顆粒水和剤
- ・アフーム乳剤
- ・トルネードフロアブル
- ・プレオフロアブル

については、防除効果が高かった。

しかし、以下の薬剤については、防除効果が不十分かほとんど効果がなかったので、

使用は控えて下さい。

- ・ マッチ乳剤
- ・ デルフィン顆粒水和剤
- ・ オルトラン水和剤
- ・ コテツフロアブル
- ・ ハクサップ水和剤

◎防除薬剤については、

●Web 版大阪府病害虫防除指針

(<http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報検索システム

(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)

にて確

認してください。